

はじめの一步

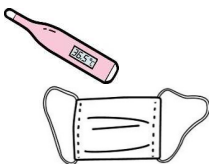
新潟県立小出特別支援学校進路指導部
NO. 106 (令和4年11月4日)



経験を通して…

進路指導主事 細井哲明

稲刈りもすっかり終わり、越後三山の山頂では雪の様子が見える季節となりました。様々な感染症が流行し始める時期に突入です。感染予防を徹底して、元気に過ごしていきましょう。



高等部では、現場実習の真っ最中です。御家族の皆様からは、実習に向けて物品の準備、通勤練習、事業所への事前挨拶、現場への送り出しや実習ノートの記入など、御協力いただきありがとうございます。この活動ができるのは地域の事業所の皆様のおかげです。子どもたちのために御支援・御協力いただき感謝の気持ちでいっぱいです。本人、家族、現場実習協力事業所のそれぞれの立場でより良い経験となり、「やって良かった」と感じていただき、未来の高等部生や地域のために持続可能で、必要性のある活動として取り組んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

今回の実習で御協力いただいている事業所を紹介します。

<後期 現場実習協力事業所>

(株)三国東洋 (株)栄工舎★ 魚沼市立小出病院★
(株)魚沼オールパッケージ★ 魚沼市教育委員会教育センター★
(株)魚沼わさび苑
魚沼更生園 やいろの里 なないろ かけはし わかあゆ社
湯之谷工芸 ひろかみ工芸 堀之内工芸 またたびの家
工房とんとん なごみの家

★印は新規協力事業所

今回の現場実習が始まってからの様子をいくつか…。

①学校と現場で圧倒的に違うのが、作業における物量と勤務時間です。



現場では業務量の確保や作業時間がしっかりと管理され、業務が行われています。現場実習ではその業務時間の中で、決められた業務の実経験をさせてもらっています。業務を繰り返すことが、現場スキルや継続力等の向上につながり、生徒が「できるようになりました」と自信をもてるようになっています。



②週末になると疲労感からか、体調を維持するのに苦労している生徒がいました。実習状況と本人の実習内容を照らし合わせて考えると、学校での学習時間よりも長い時間勤務することから疲労の蓄積になったようです。また、初めて訪れる事業所、対面したことのない人々との関わり、「学習したことを実践しなければ…」という気持ちからくる緊張・気疲れがありました。さらに、気温の変化から衣類の加減や耐性が求められたり、朝の出勤から帰宅までの全体の活動時間に対する疲労があったりと様々な要因が見えてきました。しかし、社会に出ると必ずある環境です。経験を通して求められる力を学ぶ機会になったと思います。

③公共交通機関を利用したことがない生徒が、今後の生活のため乗車にチャレンジすることになりました。経路の確認や乗車練習、待合の注意点などを確認し準備をしました。実際に実習中に乗車までの待合いや車内での座席探し、乗車マナー、下車、支払いなど繰り返し経験し、1人でもできるようになりました。ハプニングもありましたが、学校で学んでいる「分からなければ聞く」、「困ったら相談する」ということを実践し、解決していました。何に困っているかをはっきりさせ、誰に伝えて、教えてもらったことを実践すると解決につながるという経験ができ、自信をつけた様子でした。

④学校への帰宅連絡を通じて、電話のかけ方の練習に取り組んでいる生徒もいます。自分で発信し、「帰宅の連絡」を通して、電話でのやり取りを経験しています。名前を伝え、話したい相手呼び出し、要件を伝え、電話を切るときには「失礼します」と言って、静かに電話を切っていました。毎日経験することでスムーズになり、レベルアップしたやり取りになっています。



⑤校内にいる生徒も頑張っています。現場での課題達成に向けて練習をする生徒や、実習が終わり見えてきた課題を自覚し一生懸命にチャレンジする生徒がいます。現場での業務とは異なり、多くの物量があるわけではありませんが、学校だからこそできる、一つ一つの課題を意識して取り組み、行動を確認しながら実習をしています。

現場実習に限らず、必要に合わせてタイミングを逃さずにチャレンジすることで、経験が社会で生きる力に変わっています。どんな分野でも様々な経験をして、力を伸ばせるよう、家庭と学校とで連携していきましょう。

<かみのろの進路教室>

『働く』について



高等部では「卒業したら社会人」を目指して取組をしています。その社会人としての活動の一つとして「働く」があります。これからの将来を担っていく若者たちですので、何かしら「働く」取組をしてもらいたいと思っています。「働く」ということには、いくつかの意義があると考えています。

①生活に必要な収入を得る。

社会人になった時、自分の生活は可能な限り自分で支えることが必要です。社会人として自覚し、働くことで生活に必要な収入を得ることは、とても大切なことです。

②「働く」は、“傍た^は楽^らく”。

「働く」は、“傍^はた^ら (周りの人)”を“楽^らく^く (楽しくする、楽にする)”という意味があるとも言われています。働くことで、自分の周りの人たちや仕事相手のお客さん、一緒に生活する家族等を、楽しくさせていく、楽をさせてあげることも大切な事です。自分のできる事から取り組み、周囲の皆さんと笑顔でつながると素敵ですよ。

③「働く」ことを“やりがい”に…。

学校卒業後、通える場所があるということは、とても幸せなことです。自分の居場所があり、一生懸命にがんばることで、多くの人から「ありがとう」や「一緒にいてほしい」という思いが生まれ、やりがい(生きる活力)につながります。

居場所があり、人からも求められ、やりがいを感じて活動ができること、それがもっとも大切な“働く意義”かもしれません。

様々な児童・生徒がいます。“卒業したら社会人”。それぞれの実態に合った「適性就労」につながるように、ライフステージに合わせて学習をし、積み上げ、みんなで子どもたちを育てていければと考えています。



<11月の進路教室について>

今回も事前申込になります。別紙にて御案内しますので、希望される方は申し込みください。

11月の進路教室

日	時	令和4年11月25日(金) 13:30~15:00
概	要	・実習の様子(後期実習を写真や映像で振り返る) ・進路先決定までの手続き

※他、普段からの疑問等があれば取り上げます



今まで発行した進路だよりは当校のホームページに掲載しています。是非、御覧ください。

URL <http://www.koide-tk.nein.ed.jp/course.html>

新潟県立小出特別支援学校 進路指導部(細井哲明) TEL 025-792-5412
お問合せ等がございましたら、進路指導部まで御連絡ください。

